



写真：JINYA DISC提供

## スウェーデンからの便り

1981年からスウェーデンに住みコントラバス奏者としてご活躍の森 泰人さんからお便りが届きました。

森さんは、「Koji Moriyama Live at Misty」で高柳カルテットのメンバーとしての演奏を聴くことができますが、1975～80年にかけて高柳さんと数多く共演された方です。

お便りから高柳さんに関する部分をご紹介します。

森さんについての詳しい情報はこちらから <http://www.music-net-jp.com/morimusic/>

Guitarさんへ

僕は75年頃から当時、ジョジョさんの弟子であった松宮幹彦君の紹介で彼と知り合いました。表には載っていませんが、ジャンジャンの定期コンサートに一回、ゲストで出た事もあります。

ジョジョさんとは無くなる数年前に帰国した際に自宅に伺った事が有りましたがそれが最期となりました。

高柳さんとは、井野さんのトラで毎週火曜日に山崎さんが箱をやっていた渋谷のクラブで、トリスターノの曲をガンガンやろうという事で、リハーサルを付き合わせて頂きましたが、その後、その時の経験が、スウェーデンに渡ってからLee Konitzとツアーをした時にかなり役立ち、また、彼と一緒に杉浦さんとのサルサ・ラテンバンドをやった時にも、かなりサルサをやる上で勉強をさせて頂きました。僕に取っては、高柳さんは音楽の父なのです。

しかし、僕が彼と付き合っていた頃というのは、今の僕の年齢よりもかなり若かったと云う事が判り、ちょっと驚きました！

スウェーデンの森 泰人

Guitarさんへ

> 森さんは私の大好きな「LIVE AT MISTY」のベース奏者と承知しています。

あの時は、高柳さんとトリスターノの練習バンドに井野さんのトラでお付き合いしている内に、森をベースにして、インプロビゼーションをバンバン取る別のグループを作るという事になって、幾つか仕事をした後に、弘勢さんの実のお兄さんのCDをミスティーで録音する事になったと云う次第です。

> Lee Konitzさんとツアーをされたとのことですが、高柳さんも共演の話があり実現できなかったと何かの本で読んで残念に思ったことが思い出されました。

クール・ジョジョ・バンドのリハーサルの時、不確かな箇所が出てくると、徳山さんの事が出てきました。

徳山さんは、当時、浜松町の世界貿易センターで箱の仕事もしていましたが、自宅でも教えていたり、ヤマハでも教えていた理論の大家。トリスターノのコピーもかなりのものでした様です。ジョジョさんのお弟子さん達が、徳山さんの自宅に理論をならいに行くというので、まぎれて一緒に行ったモノです。

スウェーデンに来て数年経ってから、Lee Konitzとツアーをする事になり、あの時の感激は未だに忘れられませんネ！勿論、トリスターノのモノはかなり多くの曲をジョジョさんと一緒にやらせて頂いたので、チェロキーをスローボッサでやろうと云われた時には、驚きました。

> 「ジャンジャンの定期コンサートに一回、ゲストで出た事もあります」

あれは何時だったのか・・・、井野さんがチェロでした。ともかくギター2台に山崎さんのドラムス、そして井野さんのチェロと僕のコントラバスでしたが、・・・。

> 「高柳さんとは、トリスターノの曲をやろうという事で、リハーサルを付き合わせさせて頂きました」

あの当時の井野さんは、佐藤允彦さんのトリオ、渡辺カズミとのデュオをはじめ、様々なグループのレギュラーとして一番忙しかった頃で、宮益坂の近くのクラブだかパブの様な処で毎週火曜日に練習をしていました。

> 「彼と一緒に杉浦さんとのサルサ・ラテンバンドをやった」

これはかなり沢山の仕事をしました。何と云っても杉浦さんが白と黒の2種類のスーツをメンバーに作って与え、それこそバンド然としていましたからネ！

スウェーデンの森 泰人